

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

能登川地区まちづくり協議会



平成22年能登川地区二十歳のつどい

1月10日、能登川公民館で開催された『平成22年能登川地区二十歳のつどい』には、249人の新成人が参加されました。



成人報告祭

1月10日(日)、愛宕神社(能登川町)に於いて成人報告祭がとり行われました。



文化財防火デー消防訓練

超光寺(南須田町)
1月24日(日)



Lighting Bell in NOTOGAWA

林中央公園 平成21年12月19日(土)~26日(土)



竜王町青年団の若き力、今回も参加

発行：能登川地区まちづくり協議会 発行日：平成22年2月20日
〒521-1292 東近江市躰光寺町262番地 東近江市能登川支所別館内
IP 電話 050-5802-2793 FAX：0748-42-6125
E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp
<http://members.e-omi.ne.jp/notomatikyo/>

No. 18

2009 Lighting Bell in NOTOGAWA

■平成21年12月19日(土)～26日(土) ■林中央公園 ご協力ありがとうございました

Lighting Bell の「Bell」はイソップ物語のネズミが猫に鈴をつける物語から「Bell the CAT」で「進んで困難なことをする」ということわざがあります。ひとり一人が勇気を持って未来に向けて光をともしたいという思いで Lighting Bell とネーミングしました。

広域な東近江市になり、また近年の住民によるまちづくりの流れのなか、第6回目は個人やグループによる飾り付け、作品参加、模擬店に多数の自主的な参加をいただきました。

少しづつですがイルミネーションをとおして人と人のふれあいの輪が広がったことが何よりもうれしく、楽しい Lighting Bell でした。

今後とも、勇気を持ってこの能登川地区に心の光をともしよう、みなさまのご協力を得ながら頑張っていきたいと思ひます。

寒い時期ではありましたが、多くの方々のご協力、ご参加いただけたことに感謝申し上げます。

また、最後になりましたが会場の周辺の方々には連日何かとご迷惑をおかけしましたことと思ひますがご理解、ご協力誠にありがとうございました。



このゆびとまれ

■主催 ライティングベル実行委員会 ■協賛 能登川地区まちづくり協議会



ご寄付・ご協力者一覧表

(敬称略・順不同)

(株)住兼、(有)鮎清、能登川公民館男性料理講座有志、くつく・ぽー(有)、(有)ジャパンネットワークコーポレーション、kan(カン)、スナック セレガ、はまや、西崎徹心、武藤電気商会、伊藤歯科医院、将亦和男、マルエイ、オクショウ、森定男、(有)スポットクリミ、山甚建設(株)、保智明美、中村工業(株)、吾城建設、森 武彦、ヘアーサロン シミズ、理容ユカ、中村勘一、本庄接骨院、東陽開発(株)、木村、本庄治良堂薬局、小林織物修整所、阿部喜和、小田原医院、雅寿司、小椋正晴、(有)田附牧場、(株)安土建築工房、能登川水車太鼓、田中自転車、(株)コニシ、ウインドソサエティー東近江、森野織物(有)、桑原工務店、栗見新田有志、藤よし、成尾工務店、ハンドベルなでしこ、かわもと、中川建築事務所、新宮東有志、モンク、(有)岡村エンジニアリング、能登川ボランティア連絡会、(有)石井工務店、共和製作所(株)、(有)東近江市シルバー人材センター、五個荘能登川ロータリークラブ、竜王町青年団、遊友の会、湖東信用金庫能登川支店、レイカディア大学 OB



南小学童あおぞらクラブ



東小学童さくらんぼクラブ



西小学童スマイル

		(千円)
収 入	繰越金	554
	寄付金	238
	会場での募金	340
	収入合計	1,132
支 出	開催準備費(事務費・広報費)	355
	イルミ球・資材費	342
	支出合計	697
差額(平成22年に繰越)		435

麻のある暮らしを提案します



産地shop



麻のある暮らし...
麻香(あさがお)...

上質な麻素材で心地よい、
贅沢な時間を過ごす。

湖東地域は古くから麻織物の産地として栄え、「近江の麻」・「近江ちぢみ」の地域ブランドを中心に多彩な生地や商品を製造しております。

平成21年11月に湖東繊維工業協同組合が、産地ショップ「麻香」をオープンしました。上質な麻素材のジャケット・シャツの他、靴・ショール・帽子など、ステキなアイテムを揃えています。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



産地shop麻香(あさがお)

営業時間11:00～18:00

滋賀県東近江市垣見町760

<湖東繊維工業協同組合1階ロビー>

JR能登川駅東口より徒歩2分

TEL:0748-42-0398

種老人クラブで 発足50周年記念式典を盛大に開催

種 自治会

種老人クラブ（現会員数69名）の発足50周年を祝う式典が、平成22年1月17日(日)、種・憩の家において、50名を超える参加者で開催されました。



感謝状贈呈

第1部の記念式典では、大辻房弘会長の式辞のあと、種自治会長をはじめとする4名の来賓の方から祝辞を頂き、次いで、90歳を超える会員の方8名に会長より感謝状が贈呈されました。

第2部の祝賀会では、アトラクションとして、「きんぼうかい琴峰会」による大正琴の演奏、「夕映の会」による創作舞踊を楽しんだ後、祝宴が始まりました。ここでは50周年を記念して作成された記念誌の話題などで大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。



「夕映の会」による創作舞踊



祝宴の模様



記念式典ムードを高めるために正月早々より会場近くに立てられた立看板(左)と会場玄関の飾り門柱(右)



種老人クラブ発足50周年記念誌
(全会員からの投稿記事と写真を)
カラーで掲載。109ページの労作

ご存じですか？ クリエイトプラザ東近江

今回は、能登川作業所を紹介します。

ここでは、知的、身体、精神に障がいのある方が現在19名働いておられます。

作業の内容は、カーテンレールの組み立てやクッキー等のお菓子の製造・販売、猪子山公園トイレの清掃、エコキャップやアルミ缶収集、地区社協広報の配布、能登川図書館内にある喫茶店の営業などです。



作業所で製造しているお菓子には、「みんな de クッキー」、卵白とたっぷりのアーモンドパウダーが入った優しい甘さの「コロコロクッキー」、チョコレートとココアがたっぷりの「ガトーショコラ」、安土の養鶏場から直送の新鮮卵とはちみつをたっぷり使った無添加の「はちみつカステラ」などがあります。喫茶店でも作業所でも販売しておりますので、一度ご賞味下さい。詰め合わせも承りますので、ご贈答にもご利用下さい。



能登川作業所は、地域の方とのふれあいを大切にさせていただきたいと思っておりますのでお気軽にのぞいてみて下さい。作業のお手伝いや話し相手などのボランティアさんもお待ちしています。

10周年記念

元気のつどい

■日時 平成22年 3 月 6 日(土)

9:50~15:30

■場所 やわらぎホール (能登川支所隣)

(途中からの参加もOK!)

★お昼には、カルシウムたっぷり健康豚汁をご用意しております。なお、ごはん(おにぎり等)は各自持参でお越しください。(おわん・お箸も持ってきてね)

★恒例! ベータカロチンいっぱいの人参ジュースもあります。ぜひ、飲みに来てください。

■主催 元気のつどい実行委員会

■共催 能登川地区まちづくり協議会

水車のまち のどがわを取り戻そう



猪子町の水路で

能登川地区には今も小川や用水路に豊富な水が流れています。私たちはそこに「自転車の発電機を再利用して水路に明かりを灯す」ことを試みはじめました。

■のどがわエコ水車の会 代表 村田光三

不法投棄を考える 意見交換会を開催



平成21年11月27日(金)、能登川支所別館において、不法投棄を考える意見交換会が開催されました。この意見交換会は、能登川地区環境ボランティアの会の活動がきっかけで能登川地区まちづくり協議会の呼びかけにより実現したものです。市役所、警察、地区内で活動する市民活動団体などのさまざまな立場から不法投棄の現状や対策について話し合いがされました。

ゴミを拾い美しくすることで、ゴミを捨てられない環境をつくること、自分たちのできることから琵琶湖を守ろうという思いで始めた活動が、地域全体を巻きこんだ活動になろうとしています。

認知症と

みんなで闘おう

第5話 積み重ねた古い記憶と新しい記憶

「認知機能」が脳の働きの中の1つの分野(仕事)であることを知らずに「分かって当然・当たり前のこと」として日々の生活をしてきました。そして同時に「記憶機能」も意識することなく必要なことが記憶されてきました。

「記憶機能」は、一時記憶(仮の記憶)から「確かな記憶」へと再記憶されます。この一時記憶が出来ないと「確かな記憶」には残らない仕組みです。

しかし、以前から積み重ねた知識や作業などもあるもののことは「確かな記憶」にしっかりと残っています。この残っている記憶を使って脳を刺激することがとても重要になります。

たとえば、「唱歌などは誰かが歌い出すと少し遅れてみんなが歌える」「お手玉の作り方もはじめは「もう忘れた」と言われていても布にふれ、針を持つと少しずつ記憶がよみがえり指導

できる」など古い記憶を思い出すことができます。

記憶は、新しいことを上に積み重ねるように記憶されますから、現在に近い記憶から消える症状が起こります。「昔のことは憶えているのに、なぜ今のことを憶えていないのか」という疑問がおこるのは記憶のメカニズムなのです。

記憶・認知機能は少しずつ低下してゆくもので、その症状も体調や周囲の環境によって一定ではありません。初期では、他の機能は変わりないことなど症状の仕組みを理解していただくことが大切です。

「ご本人は「なぜ憶えられないのか」という悩みの中で生きておられ「忘れた」と言っことで自分を守っておられるように思います。

毎月第3土曜日午前8時から、東近江市スマイルネットの音声放送端末機の4チャンネルでも認知症についての放送をしています。

